

辻先生、レイ事務局佐藤様へ

一年間のご支援を経て、卒業を迎えようとしています。
昨年の今頃は、このように笑ってられるなんて想像も
つかなかったです。受験生の自覚は、まだまだ足りない
息子ですが、友達と楽しそうに遊んだり、塾に通ったり
している姿を見ると、復学支援を受けて本当に良かった
と感じます。

思いおこせば、息子の異変を感じたのは、中一の秋休み
明けの10月でした。初めは、お腹が痛い、トイレからな
かなか出られず休むという日が一週間、内の二、三日
あり、その時はただのストレスやプレッシャーなのかと思
ていました。それが、同じ部活の友達とのトラブルをき
っかけに、中二の4月から完全に不登校になってしま
いました。

そのトラブルが解決すれば、また学校に行けるものだと
思い、学校の先生方にも色々な手段をとってもらった
ものの、息子がそこに向きあおうとせず、日々過
ていきました。その間、私はネットや本で何かいい手段
がないかを必死で探しました。しかし、それらの情報は、
様々で、どれが正解なのか全くわかりませんでした。
好きな事をさせてあげれば、ババが回復するなと
いう意見もあり、そのようにさせていた時もありました。が、
何かひっかかり、毎日出口のないトンネルにいる様な感覚
でした。そんな時、同じ不登校のお子様がいるお母さん
が書いてあるブログが目に入り、そこで復学支援と
いう機関がある事を知り、調べてみると、まさしく、これだ
と、ひとつの光が見えました。そこから、信頼できると
知人に紹介していただき、辻先生のサポートが
始まりました。

息子の不登校のタイプは、過保護過干渉型でした。

今まで子どものためにと思ってやってきた子育てが、

自立の妨げだったのかと、私自身ショックを受けました。

が、子どものために、私達親が変わろうと、家庭教育

を学び直し、同時に復学にむけて一歩ずつ

進み、中二の後期から完全に復学を果たす事が

できました。勉強面に関しては遅れをとっている部分

はありましたが、友達は何事もなくたかのようにつ

いてくれ、息子も楽しそうに通う事ができました。

不登校に関しては、人それぞれ考え方が違うと思います。

“学校は行きたくないなら行かなくてもいい”

“フリースクールなどに通えばいい”

“学校はやはり行くべきだ” など。

私は、この中で学校に行く事を選びました。これは、私個人の考えですが、不登校の子ども自身が、それらを

選ぶ、実行する事はとても難しく、ならば親が子どもに
とっての最適を考え、実行すべきなのではないかと。

思い、我が家は復学の道を選びました。

今息子が生き生きしている姿を見ると、今までやって
きた事が報われたようでとてもうれしく思います。

これも全て辻先生がひとつひとつ細かにご支援

いただいたおかげです。私の心配事のラインでも、いつも
親切に教えてくださり、本当に感謝の気持ちでいっぱい
です。ありがとうございます。

これから本格的に受験に向かおうといかなければなりません。
辻先生がよく仰っていました。どういう自分でありたいか、
どういう家族でありたいかを考え、過ごしていきたいと
思います。

まだ暑い日が続くと思ひますので、どうか皆様
お体ご自愛ください。本当にありがとうございます。